

人生は美しきもの

本書『龍の目覚め』では、三つの〈龍〉をあつかっています。

一つめは、一般的な〈龍〉についての説明です。

世の中にはたくさんの方の龍の説明があふれています。たくさんありすぎて、よくわからないという方はご参考ください。

二つめは、〈龍族の龍〉についての説明です。

龍族という言葉が気になるという方はぜひご覧ください。

三つめは、〈自分という龍〉についてです。

わたしたちは誰もが、龍の性質やエネルギーを宿しています。価値観や世界観が大きく変わる現代で、

〈自分という龍〉を目覚めさせてください。

そして、

ご自身の人生と、わたしたちみんなの世界を、のびのびと自由で、

愛と喜びにあふれた

美しいものにしていきましょう。

わたしたち人類は、

恐れや心配と共に生きる人生を

もう十分に体験してきましたし、

その生き方は、

わたしたちに

どのような現実を与えるか、

十分教えてくれました。

龍は、この本でわたしたちを、美しい現実へと導いてくれます。

今こそ、人生を、愛や歓びと共に歩みましょう。

序章 なぜ龍か？

いま、地球は急速に意識を変えています。
現在の地球は、自らのエネルギーを変えるために、天変地異を発生させ、古く苦しいエネルギーを中和し、新しい秩序や環境を生み出そうとしています。

その地球の大改革の中、
龍は、いまの地球と連携し、地球のエネルギー構造を組み替えています。
この龍は「地球の龍」といいます。

いま「地球の龍」は、人類に新しい生き方をうながしています。
それは、人類の意識を変えることによつてこそ、
地球が新しく生まれ変わるためです。

この「人類の意識の進化」は、現在の地球各地でおこなわれています。

龍は言います。

「転生は存在しない」と。

現在の地上の魂たちは、
常識や、義務と責任、また罪悪感といった大義名分を信仰し、
「過去―現在―未来」という時間システムを信仰しています。

そして、

「すべての存在は愛で出来ている」ことや

「すべての存在は調和できる」こと、また

「すべての生命は、みな同じ宇宙の一部である」ことを忘れてしまい、さらには
「意識が現実を生み出す」

ことを忘れてしまっているため、どうすれば幸せになれるかさえ、
忘れてしまっています。

そして、この現象が地上のたくさんの人々に起こっていることから、
わたしたちの住む世界を、どうすれば安らぎにみちた平和な世界になるかさえ、
わからなくなっています。

その結果地上では、
いまだに、戦争、疫病、虚偽、妬み、苦しみ、みちあふれています。
この現状を変えるには、どうすればよいのでしょうか？

龍はこの人類の混乱状態にピリオドを打つために、盛んに活動をはじめました。

現在の地球は、宇宙各地とつながっているため、
宇宙各地からたくさんの影響を受けていますが、
つながっているからこそ、地球で生じた変化は、
逆に宇宙各地にも反映される現実があります。

つまり現在の地球は、
宇宙各地からの影響をうけると同時に、
宇宙各地への影響力をもっているのです。

ですから、宇宙の光の存在たちは、
地球での改革を〈聖なる計画〉と呼び、
聖なる計画は、
たんに地球の救済だけではない、
宇宙全体の発展のための計画なのです。

現在の日本は、
世界有数の治安レベルと物質的な豊かさを持っていますが、
このことは日本人の精神性によってなっています。
だからこそ、
現在の地球の改革の中で、
日本はとても重要な役割を持っています。

そのため、
日本人の意識を変えることも〈聖なる計画〉の一部なので、
〈宇宙の光の存在たち〉、〈日本神界〉、〈観音〉が連携して
日本人の意識の浄化や、成長をうながしています。

龍は、その3つの存在と協力しあいながら、
まだ現代人が気づいていない〈心の作用〉を人類に伝えると同時に、
現代人の心を育てて、地上の改革をおこなっています。

現在の地球で、
龍が積極的に活動している背景は以上ですが、
その龍とは、
いったいどんな存在なのでしょう。

龍は、
ファンタジーゲームや映画の世界や、
世界中の神話や伝承にでてきます。
また

仏教やキリスト教、また先住民の伝承に出てくる龍もあれば、
霊やエネルギー体として感じられ、龍と呼ばれる存在もあります。
そして、

かつての地球に住んでいた爬虫類型生命体や蛇神を、
龍と誤解されている方がいらつしやいます。

本書では、
龍はいったいどんな存在なのか。
また、人によって意見が違う、さまざまな龍についても、ご説明いたします。

龍について、誤解がたくさんあります。
私たちの中には、

龍に対して否定的な方もいらつしやるかもしれませんが、
どうかまわりを見てください。

私たちのまわりには、龍やドラゴンという言葉が
あふれていますか。

そうだとしたら、
それはいったいなぜでしょうか。
なぜ、そこまで龍は、私たちの世界に密着しているのでしょうか。

その答えは、
本書を読み進めていくうちに、
わたしたちのハートが必ず教えてくれるでしょう。

2016年7月

光とともに
HAL

第1章

龍の正体

龍はかくも美しきもの

龍は 宇宙にひろがる 根源のエネルギー

龍は 地球で躍動する 生命のエネルギー

龍は 人間に宿された 創造のエネルギー

龍は

生命の息吹であり

宇宙の光です

1. ノーサイドの世界

日本には、世界を調和と平和に導く大きな役割があります。

日本が、世界でもっとも精神的に豊かな国かどうかは、別の話ですが、日本にはそういった役割があるのです。

そしてその日本の働きには、

日本の神々が協力してくださっています。

かつては、対立関係にあった一部の日本神々たちも、

現在は和解が進み、

いままで虐げられ苦しんできた一部の神々は、

清らかに解放されてきています。

そうやって、人間的な部分がある日本の神々も、

どんどん波動を拡大しているのです。

龍は、現代のわたしたちが持っている、

敵対心や迫害心などを手放すように導いてくれています。

龍は、古い意識によって生まれた、古い世界観を変えるための、強力なエネルギーをもっているのです。

そのため、龍は、広大な宇宙意識の連合体と協力して、

世界や日本の調和のサポートをしているのです。

その宇宙的なサポートの中で、

いまの人類が導かれていることは

ノーサイドです。

ノーサイドとは、

私はどちら側であなたはあちら側、

という分離の気持ちや、

否定的な想いと敵対心を、

手放すことです。

世界でのノーサイドの和解の光をひろげるため、

いまの日本の各精神世界でも、

和解が次々におこなわれています。

ただ和解とはいったい何のことでしょうか？
和解とは、

一時的な対処療法のように、
争いをやめましょうと、

声高に唱えるだけのことでしょうか？

家庭、学校、職場、国家、国際社会といった、
あらゆる世界で争いが絶えないのは、

ノーサイドの世界観や価値観を用いず、
分離の世界観や価値観をもっているためです。

ですから、

世界中が平和の必要性を知っていても、
世界平和を現実できていないのです。

ですが、

いま地球は新しく生まれ変わり、
世界平和を達成します。

それは、

ノーサイドという世界観によってなされるのです。

ノーサイドの精神は、

龍から人類へのメイン・メッセージです。

ノーサイドの世界観とはいったい何でしょうか？

女性と男性

親と子

夫と妻

敵と味方

雇用者と労働者

日本と外国

ヒーラーとクライアント

ヒーラーと医師

ヒーリングと薬品

自然と都会

スピリチュアルと物質主義

スピリチュアルと現代科学

健康と不健康

人類は、

すべてのことに対立意識をもたされ、

分離する見方は進み、

そのことから、

いつも警戒心や心配をもたされています。

これは、常に恐怖と共に生きています。

そして、これらの恐怖はさらなる争いの種となって、

さらなる争いを引きよせ、

人類は永遠の争いと苦しみの連鎖を繰り返しています。

ですが、この分離の世界に、

新しい魂であるわたしたちは、

もううんざりしているのです。

「母親だから、女性だから、子供だから、男性だから、親だから——

わたしは〇〇しなければいけない・・・」

といったあらゆる大義名分と、愛のない義務と責任によって生まれる意識、

「わたしは、くだから、〇〇しなければいけない」

といった生き方をしても、一時的な安らぎしか得られず、

心の永遠の安らぎは、

まったく体験できないことを、

嫌になるほど繰り返しています。

そして、義務と責任、また罪悪感など、

ありとあらゆる大義名分によって、

本来ひとつであるわたしたちを分離させ、

敵対させ、区別し、差別し、

自分の所属するグループや、

自分自身を守ることばかりに専念するように、

人類は道を外してきました。

人類は、
自分や自分たちを守ることばかりに、憑りつかれ、
苦しみと破滅の道をあゆんでいるのです。

根本的に、守るとは〈究極の恐れ〉です。

人は、歎びや慈しみに意識をむけると、
愛と連動することから心の周波数がアップし、
調和の引き寄せをうながし、温かい世界を生み出しやすいですが、
守ることに意識をむけると、
恐怖と連動することから心の周波数がダウンし、
殺伐とした発想が生まれやすく、冷たい世界を生み出しやすいのです。

そしてわたしたち人類は、
長らくそんな冷たい世界に住んできましたが、
もう私たちの魂は、うんざりしているのです。

そのことに、
いま多くの日本人が目覚めていき、
世界にその意識を広げていきます。

これからの日本は、
とても大きな愛を、
世界全体にしめすでしょう。

それはすでに始まっていることですが、
これからの時代は、
さらに加速されていきます。

2. 龍とは

龍とは、宇宙の中心の光、そのものです。それは愛であり、活力であり、安らぎの源です。

宇宙の中心の光は、古代から、創造主、アラール、天之御中主神、サヴィトール、毘盧遮那仏（大日如来）、などと呼ばれていますが、現代では、根源、大いなる全て、グレート・セントラル・サン、などと呼ばれることがあります。

宇宙の中心から放たれる光は、全宇宙のすべての活動源になっていて、その光は、公転や自転といわれる星々の動きをもたらし、全宇宙の生命力を与えています。

活力は、すべての活動源であるため、活力でなりたつ全宇宙の活動なのですが、それだけでは宇宙全体の平和が保てないため、宇宙のバランスをとるための役割として、宇宙の中心の光は、調和をもたらす寛容さを引き出す平和的な光として機能し、フェニックスやガルーダなども呼ばれる鳳凰となるのです。鳳凰は、男性である鳳と、女性である凰の2羽で鳳凰と呼ばれますが、これは霊的なバランスが取れていることを表しており、鳳凰は調和や平和のための存在です。難しくいうと二極を統合させる調停者なのです。

宇宙の中心の光が、全宇宙の活動源として機能させるとき、その光は龍と呼ばれ、調和を取るための、和合の光として機能するとき、鳳凰と呼ばれます。フェニックスやガルーダ、朱雀やサンダーバード、ルフなど、世界中に霊鳥の伝承が多いのは、かつて地上に肉体をもって存在していた龍に関係しています。

またフェニックスは、再生をあらわす霊鳥であり、
ガルーダは龍を食べる霊鳥とも伝えられていますが、
これは、地球の大气や大地の成分が、
現代とは全く違う時代の出来事に関係しているのですが、
これらの詳しい解説は、
本書が龍の本であるため、別の機会にご説明させていただきます。
ただ、龍も鳳凰も、本来は同じ光であり仲間です。

宇宙の活動させている龍は、

創造主や根源の息吹ともいえますが、

一部の龍は、さまざまな存在や、人間のさまざまな意識と融合したことによって、
さまざまな龍として地上に生まれました。

本章では、本来の龍にそれらの龍たちも含め、まとめて解説させていただきます。

すべての龍は、実はすべての人があつかうことができるものですが、
龍を、世界平和のためにどう活かすかは、わたしたち次第です。

美しい世界観を活用し、人生に喜びと豊かさをもたらしてください。

それらは、すべて私たちひとりひとりの、

心の楽しい使い方にかかわってきます

龍は伝えます

遊び 遊ぶこと

育み 分かち合うこと

自由であり 大胆をよしとすること

それらはすべて美しいことであること

そして いつも純粹であることを

3. 光の珠

龍は、宝珠オーブと呼ばれる〈光の珠〉を持っています。

これは、龍の証や紋章のようなものであり、すべての龍は〈光の珠〉をもっています。

光の珠は、根源、創造主、グレートスピリットと呼ばれる、宇宙の中心の光そのものであり、それらの衛星ステーションのようなものです。この〈光の珠〉は、宇宙の中心の光と同じ機能を持っているのです。

龍は、この珠を持っているからこそ龍であり、自身のエネルギーをさまざまな周波数に変化させ、つかいこなすことができます。

龍は、さまざまな次元世界（周波数領域）へ移動しますが、どこへ行くにも、また、どんな種類の龍であっても、常に光の珠を持っています。

宇宙の龍や地球の龍は、エネルギーそのものなので、肉体のような物質の形態をとることは少ないですが、それらの龍でさえ、人に姿を見せる際は大きな光の珠を示します。そして、この光の珠は、龍の紋章であると同時に、すべての人間の魂にも宿されているのです。

つまり、龍は光の珠を持っていると考えるなら、魂に光の珠を宿している人間も、同じく龍といえるのです。

宇宙はいま、わたしたち一人ひとりの精神的な「龍の目覚め」をうながしています。ですがわたしたちの多くは、いまだ〈光の珠〉のあつかい方を忘れており、使いこなせていません。

そのため、龍は、

現代のわたしたちに、その〈光の珠〉のつかい方を教えに来ているのです。

そして、その龍からの訓え^{おし}は、宇宙からの訓えでもありません。

すべてをなす〈光の珠〉の使い方は、

わたしたちが本書を読み進めていきながら

ご自身なりに発見していくこととなりますが、

その効果は、本書を読み終えてから、日常生活の中でも、

その効果は広がっていきます。

4. 龍の様相

龍を視覚化する際、人によって龍の見え方は違うでしょう。

ある人は、龍を光としてとらえ、

ある人は、龍を立体映像のような、透明感をあわせもった映像として、

見るかもしれません。

またある人は、まったくちがった見え方をするかもしれません。

これらは、すべての人の脳にある「視覚化プログラム」が関係しています。

この視覚化プログラムは、自分にとっての映像のため、

自分なりの見え方になるのが特徴です。

ですから、龍を見る人には、さまざまな龍の見え方があっていいのですが、

参考までに、わたしなりの龍の特徴をご説明させていただきます、

これを絶対的な指針として、知識だけによるジャッジメントをなさらないでください。

龍と接する際は、かならずハートと連動して接してください。

脳や知識といった全体の一部の機能だけを分離させて、

龍を判断しないでください。

① しっぽがない

本来の龍は、しっぽがありません。

しっぽがある龍は、宇宙の中心と分離した龍です。

② 半透明感

ヴィジョンにしろ、肉眼的に感じる視覚にしろ、

龍には透明感があります。

③ 光の珠

龍は、常に光の珠を手に握っています。

物質の龍は、手ではない部に珠を持っています。

④ 蛇ではない

蛇と龍を混合する考えがありますが、事実ではありません。

⑤ とぐるを巻かない

蛇神とは異なるため、とぐるを巻いたり、

龍体を極端に曲げることはありません。

らせん運動をすることはありますが、

それも平面的に丸を描く運動をするのではなく、

立体的に丸を描く運動をするため、

ゆるやかな角度でしか曲がりません。

⑥ ウロコと体毛

内なる視覚で体毛やウロコを見ることは少ないですが、物質レベルに近い周波数でみた方は、ウロコや体毛をみることもあり、想像以上に体毛が多く見えるかたもいるでしょう。また人によっては、内なる視覚で見ると、ウロコというよりは、エネルギーパターンをあらわす模様のように見えることもあるでしょう。

5. さまざまな龍

龍は、自分のエネルギー周波数を自在に変えることから、あらゆる次元世界（周波数領域）で活動しやすい体に変化することができます。

そのため、

龍はラジオやTVのチャンネルを変えるように、自在に周波数を変えることができ、

あらゆるエネルギー形態に変えて、

宇宙すべての多次元世界に存在しているのです。

ただ、シンプルな龍のエネルギーは、

シンプルであるがゆえに、さまざまなエネルギーと融合しやすいため、

その結果、地上には本来の龍とむすびついた、

たくさんの龍が生まれました。

ただ、それらの龍は、一部の周波数に固定された龍といえます。

周波数が固定された龍とは、

映画「千と千尋の神隠し」に出てくる、

封印された龍であるハクのように、

ある世界にしばられ、

意識や能力も制限されたものです。

固定化された龍は、もはや龍とは呼べないという考えも持てますが、

それらの龍も、現在では多くの人から龍と呼ばれている現状から、

本書では、それらも龍から派生した龍であるとして、

ご説明させていただきます。

宇宙の龍

宇宙を活動させている宇宙の活力、

宇宙の根源の息吹、もしくは創造主の息吹とも呼ばれます。

すべての星々の動きや、

全宇宙の生命体へのエネルギー供給をおこなっています。

感情や思考といった人格はなく、

大いなる宇宙意識として活動しています。

地球の龍

宇宙の龍と、地球のエネルギーの融合によって生まれた龍であり、地球での、
海流や河川の流れ、地下水脈など水の流れ
竜巻や風、台風などの大気の流れ
火山活動や、地下マグマの流れなどの火の流れ
地震などの大地の動きなど、
すべての自然現象は地球の龍によって生じています

中国の伝統医療では、

人体にある気の流れる道を経絡、

人体のエネルギーのツボを経穴といいますが

地球の経絡にあたる、地球に流れるエネルギーの流れを龍脈と呼び、その龍脈には地球の龍が動いているのです。

そしてその龍の動きと同じように、

地下水流や地盤プレート、また地下マグマや大気が動いています

地球の経穴（ツボ）といえる龍穴は、

龍のエネルギーの噴出口であり注入口ですが、

この龍穴を、現代のスピリチュアルでは、

ヴォルテックスセンターやパワースポットと呼びます。

また、先住民はそのエネルギーを理解していたために、その場所を聖地として祭りました。

そのため、たいいていの聖地は水が湧き出やすかったり

火山の近くや、

風通しがよい場所などが多く、

健全なエネルギー状態であれば、大地の波動は軽やかです。

精霊の龍

精霊の龍は、

〈宇宙の龍〉〈地球の龍〉〈地域の精霊〉の3つが融合して生まれた龍であり、物質世界とは異なる精霊界に住んでいる龍です。

それらは感情や思考を持っており、
一般的によばれる龍の大半が、この精霊の龍にあてはまります。

これらの存在を人間が神として祭ると、その龍は龍神と呼ばれます。

祭られた龍は、祭る人々の想念の影響により

たいていの場合、

本来、自由にエネルギーの周波数を変えることができる龍が、

周波数転換ができなくなり、ある一定の周波数に固定されるため、

龍はその意識周波数から逃げることができなくなってしまいます。

そうなってしまうた龍は「縛られた龍」となります。

もちろんこれは、精霊の龍に生じることであり、

本来の龍である、宇宙の龍や、地球の龍には当てはまらない出来事です。

また人間の恐怖の意識が混ざってしまった龍神は、

混乱や暴走を引き起こしやすいです。

※人類史上、このもっとも大きな例は、

フランス王室と、その協力者たちによって、屈辱的な壊滅を受けた、

テンプル騎士団の残党による、隠された龍神信仰の濫用がありますが、

時代の変化にともない、

この暴れた龍神でさえ、時代の光によって、現代は収まってきています。

現代は宇宙のサポートにより、

それだけ、想像以上の勢いで、世界平和へ向かっています。

また集団の人間が生みだした恐怖の意識によって、

河川や池や湖が影響を受け（水は感情周波数なため影響をうけやすい）、

精霊の龍が混乱し暴れることもあります。

その場合かつての日本人たちは、

暴れる龍神を鎮めるために、

祈りで鎮める意識を集め、

その意識を龍神に捧げ（龍神に自分たちの意識を混ぜ合わせ）、

てきました。荒れたエネルギーに平和なエネルギーを混ぜあわせ、

調和しようとしたのです。これを「鎮める」といいます。

想念の龍

あまり知られていませんが、人間の想念には強力な力があります。想念の龍とは、その人間の想念によって生まれた龍や、人間の想念によって変化した精霊の龍です

特定の信仰や、特定の考えを信じた人たちが、集団で継続的に、祈りをささげ、信じ続けることにより、その集団の信じた通りの想念を、龍として生みだし、活動させることができます。

これを想念の龍と呼びます。仏教における八大龍王とは、精霊の龍や地方神、また何かの存在が、信仰によって強化された龍といえます

これらの龍は、これら以外の次元世界（周波数領域）への移動ができなくなります。

龍神について

世の中には、龍神信仰や龍神と呼ばれるものが存在しますが、こちらのご説明をさせていただきます。

龍神信仰にもさまざまあります。

- ・ 創造主の眷属としての龍神信仰
- ・ 水神信仰としての龍神信仰
- ・ 北極星とつながる神仙による龍神

日本でいう神とは

龍神の解説をさせていただく前に
龍神の神にあたる部分のご説明をさせていただきます

神とは人が与えた称号のような側面があります。

また、日本でいう神とは、西洋の聖書に出てくる神と違い、
目に見えないスピリット全般を指します。

そのため、天之御中主神のように、無形の存在である神もあれば、
豊臣秀吉（豊臣大明神）のように、歴史の人物が神になる場合もあれば、
山の神やトイレの神のような、生活に密着した神も存在しているのです。

また剣や鏡など、物品も神として祭ることがありますが、

これらは、人間の想念は万物に宿る、
という考えによるものであり、

特定の物品に、神聖な想念が宿った場合は、神として祭ることがあります。

これらはすべて人間の想念が、

現実におよぼす力がある、という考えに基づいています。

この想念信仰が発展し、

言葉に力があるという言霊思想が生まれます。

また、

人間に神としてまつられることは、

ある種の靈的契約であり、

神としてまつられた存在は、

祭った人々の想念によって縛られてしまいます。

創造主の眷属

宇宙の創造主の眷属（お使い）として、

龍を神としてまつった龍神信仰があります。

これは、宇宙の龍と精霊の龍をミックスしたような考えです。

余談ですが、仏教の開祖であるお釈迦さまには、龍王の別名があるようです。

龍王とはすべての龍をあつかう龍、
全ての龍を統べる龍のような意味合いがあります。

水神

地球の龍は地球のエネルギーライン（龍脈）を通り、
地球のエネルギーを循環させて、
地球を活動させています。

そのため、

海流や気流、地下水脈やマグマ、プレート移動（地盤移動）などは、
龍のエネルギーによるものです

そしてこの水の流れにあたる地球の龍と結びついた精霊を
精霊の龍として祭ったのが水神信仰の始まりです。

水神は、精霊界に存在する精霊の龍ですが、
人間が神として祭りしぱりつけられた龍は、
龍神界という意識世界に存在しています。
これが、もっとも多いタイプの龍神信仰です。

ただ、神社で参拝する前に手を洗う手水舎では、龍の置物をよく見かけますが、
これは、龍をまつていない神社や、仏教寺院といった、
龍神信仰ではない神殿で見かけることがあります、
その場合の龍は、龍を祭っているのではなく、
手水舎の水が、〈地球の龍〉の施しであるという意味を、あらわしているからです。

また水神は、人間が龍を神として祀った「しばられた龍」であり、
龍神界という意識世界に存在します。
民話に出てくる龍も、ほとんどがこの龍神界の龍です。

北極星の神仙

霊能者さんから龍神がついているといわれる方は、
この龍の場合があります。
この龍神がついていると天気を操作しやすいですが、
神としての龍神も同じ性質を持っています。

ただ神仙の龍神は、強力な超能力というか、念力のようなものを与えます。

この龍神は、もともと仙人として修行していた人間であり、生前から北極星や北斗七星を通して宇宙を旅していました。そこで宇宙の龍と深く結びつき、龍となったのです。

そして、肉体を脱ぎ捨てた後は、北極星や龍の星に移住しているのです。その龍の星に旅立った仙人が、スピリットガイドとしてついでにいる方を、龍神から守護霊として守られているといいます。

たいていそういった方は、

日本や中国で、修験道や仙道とご縁が深い場合が多く、超感覚に優れ、天気操作も上手な場合があります。

(注) 超常的な行為や天候操作は、龍にかかわらず行えることです

この龍神は、みずから神を目指した龍であり、人に神としてまつられた龍神ではないため、人間の想念で縛られていません。

外惑星の龍

地球以外の星にも、その星なりの、精神的に進化した龍が存在し、地球へのサポートを続けています。

発展した精神性を持つ外惑星の龍たちは

「高次元や低次元という分け方は低次元の考えであり何かへの危険視や敵視は分離の精神を生み永遠の心配と怯えをうながします」

と説き、

世界は多次元に展開しており、

それぞれの次元の、
それぞれの魂が、
それぞれの役割をおこなうことにより、
地上は成長してきている、
と説明します

物体の龍

周波数を変えて物体になった龍のことを、〈物体の龍〉といいます。
物体の龍は、かつての地上に存在した恐竜や翼竜です。

地球に3次元世界をつくる計画が生まれた際、
恐竜が地球に生まれました。

目的は3次元世界で、3次元的な意識をたくさん使うことによって、
宇宙にある3次元世界は活発化していき、
3次元世界が開拓されていったのです。

かつての地球は、
現代と大気の成分が違いましたが、
当時の恐竜の姿は、
現代のわたしたちが図鑑で見かける復元図とは大きく異なりますが、
これらはやがて現代科学で解き明かされるでしょう。

また、恐竜が生息していた時代も、
私たちの想像以上に古くないものです。

ちなみに、映画『アバター』に出てくる翼竜イクランやトゥルークは
そのドラゴンのイメージが反映化されたものでしょう。

化身の龍

化身の龍とは、龍族によってつくられた人工の龍のことです。

龍族は、現代でいうDNA操作に似た〈龍族の叡智〉によって、

龍を生みだしていました。

化身の龍は、龍族にとって、とてもあつかいやすい龍でした。

本来の龍は、

多次元世界を自由に行き来するのですが、

いつも物質世界にとどまっているわけではありませんでした。

龍族は、龍とうまく意識を交わしているときは、

龍の背中に乗って、龍と仕事をしていましたが、

いつも龍族の都合にあわせるわけではないため、

突然違う次元世界へ消えてしまうこともあったのです。

いつしか人間と交流を持つようになった龍族は、

やがて人間の影響を受け、

魂の周波数が乱れはじめたために、このようなことが起こりやすくなりました。

そこで考えた龍族は、

自分たちにあつかいやすい龍を、創りだそうと考えたのです。

その方法は、龍族の血と肉を用い、その血肉に龍を宿し、

ある期間、体内に龍を宿すことによって、

龍を3次元周波数に固定することでした。

周波数を固定された龍は、

もう違う次元世界（周波数）に移動することはできず、

3次元の生命体として龍族と暮らすようになります。

ただ、

その方法は強引な手法でしたから、

その方法で生みだされた龍たちは、

とても不安定で、生後しばらくしてから、

体が溶けだすように崩壊することがありました。

そこでさらに考えた龍族は、

新しく産まれた龍に、

特定の場所にクリスタルを埋めこみ、

シンボルが刻みこみました。

そのことよって、

龍は3次元の周波数でも肉体を保つことができ、

龍族は、龍と共に暮らしました。

そして生まれたばかりの幼い龍たちは、

保育園のような場所で、

龍族の子供たちと一緒に過ごし、

龍族との絆をつくっていました。

また、血肉によってつくられた化身の龍は、

血肉を与えた龍族とオーラを強力に共有しているため、

龍が傷つくと龍族も傷つき、

龍族が傷つくと龍も傷つくという、

現象がおこっていました。

化身の龍は、

最終的に悲劇の最期を遂げることになるのですが、

レムリアやアトランティスの叡智を継承した龍族の歴史として、

第四章にまとめてあります。

それと古代の日本では、

九州を中心に牧歌的な暮らしをしていた龍族でしたが、

大陸からわたってきた大陸系の龍族たちは、

戦闘に特化した機能を龍にもたせたため、

グロテスクな様相をもっていました、

高い戦闘力を持っていましたが、

本来美しい龍のイメージが、

恐ろしいイメージに変わったのは、このころからでした

人体の龍

人体は宇宙の反映であり、小宇宙と呼ばれています。

そして宇宙には龍が存在しています。

そのことは、宇宙の反映である人体にも、龍が存在するといえます。

つまり「すべての人に龍が宿っている」といえるのです。

そして、その「宇宙の龍」を活用できるからこそ、わたしたちは細胞や内臓：原子や素粒子といった、人体を構成するあらゆるものを活性化できるのです。

人体に流れている血液や体液は、心臓などの筋肉の働きによって動いています。一般的に、筋肉は、電気信号などによって動くと考えられていますが、その電気信号は、どうやって送られているのか。また、感情や思考はどうやって生じたり反応したりし、どうやって人体に影響を与えているのか。

人体という小宇宙は、宇宙と同じように、「人体の龍」という名の「宇宙の龍」、いわば“内なる龍”によって動かされています。

現代のわたしたちは、この人体の龍、内なる龍を活用することで、美しく喜びにあふれた人生を紡ぎ、平和な世界を生みだすことができます。

さあ、新しい世界観によって、この内なる龍を大いに使っていきましょう！

6. 光線の龍

宇宙から地球に降り注がれているさまざまな周波数の光線があります。この光線と宇宙の龍が融合した光線の龍とよばれる、宇宙の龍の亜種が生まれます。

本書では、この宇宙の龍の亜種である、

光線の龍を、さまざまな龍とは別枠で、ご紹介させていただきます。

光線の龍は、その色彩の濃淡で機能の調整をおこないますが、ここでは、それらの龍の性質をご説明させていただきます。

白龍

白龍は、自然界に住み、オールマイティな機能を持ちますが、龍にご縁のある方を、いつも見守り、サポートしています。

また龍とご縁の深い方の中には、龍の長老のような存在として、白くて毛の長い龍のサポートを、受けている方もいらっしゃいます。

銀龍

銀龍は白龍がより周波数を上昇した龍です。

積極的にさまざまな次元世界を行き来す、

魂のチューニングやエネルギー調整が得意であり

叡智の目覚めや、次元間移動のサポートに長け、

チャネリングやリーディング、エネルギーの書き換え、

などのサポートを得意とします。

金龍

金龍は、変容を得意とし、

〈恐れを愛に変える〉を得意とします。

また、金龍はすべての光線と相性があうため、ヒーリングでの協力はとても効果的です。

青龍

青龍は癒しの龍です。

色彩の濃い青龍は浄霊や混乱した霊の癒しが得意であり、龍の色を見ることに慣れていないときは、濃い青色を黒に見えることがあります。

また、水色や空色などの薄い色彩の青龍は、感情や肉体への癒しが好きな龍です。

赤龍

赤龍はマグマのようなパワフルな浄化の龍です。

とてもパワフルな浄化のため、個人よりは、集合意識への浄化が専門であり、思想や政治にかかわる人物をサポートします。

ピュアな赤龍は鮮やかな色彩をもつ美しい龍ですが、人間の欲望や恐れが混じってしまうと、混濁した色彩の赤龍になります。

赤龍にネガティブなイメージを持たれている場合は、

人間の恐怖と融合されてしまった赤龍であり、ヨーロッパにみかける赤い怒りのドラゴンは、

敗戦などをきっかけに、虐げられた人々の苦しみの集合意識を吸収した龍であり、ここに正邪はありません。

苦しみのドラゴンは、人間同士の和合によって解決できます。

またアンタレスからきた龍は、

スカーレットドラゴンと呼ばれる美しい色彩の赤龍です。

スカーレットドラゴンに守護されている魂は、集合意識の浄化だけでなく、物質変化レベルのヒーリングや、物質化現象もおこないます。

紫龍

紫龍は、観音、イシス、マリアといった聖母庁のエネルギーと連携した、

アンドロメダ星雲の波動を持つ龍であり、地球の集合意識に働きかけています。

また、集合意識を変える役割をもった魂の守護者でもあります。

紫龍には、浄化を得意とするパール系と、

癒しを得意とするヴァイオレット系の2系統がありますが、

音波の扱いにも長けており、どちらも、美しい音色を放つ龍です。

多色彩の龍

多色彩の龍は、鯉のぼりの龍のように、カラフルな模様（ウロコ）の龍体を持ち、必要に応じた単色の光線を放ちます。あらゆる機能を発揮させる鳳凰やフェニックスに近い龍であり、芸術性をサポートする龍でもあります。

虹龍

虹龍はあらゆる色彩を表しますが色彩をその都度変えるのではなくすべての色彩を常に輝かせる調和の龍であり

これから活動していく龍です

原色系の光線の龍はパワフルですが光線の相性の差が出やすいため、調和を得意とする虹龍は、これから活躍していくでしょう

虹龍は、たくさんの色を同時に発光させている龍です。

多色彩の龍のように、そのつど色を変えるのではなく、常に、さまざまな光を放っています。

そんな虹龍は、すべての色彩の光線を調和する役割をもっています。

原色系の光線は、その役割に特化したパワフルな力を有していますが、周波数の差による相性が生じやすくなります。

そんなとき虹龍は、光線どうしの龍潤滑油のように働き、すべての力や個性がまんべんなく働くよう、サポートしてくれるのです。

黒龍

黒龍はネガティブな龍と誤解されていますが、

ネガティブな龍は〈混乱した龍〉と呼ばれ、鉛のようにくすんだ黒です。

黒とは、絵の具でいえば、すべての色彩を混ぜ合わせたものであり、全ての光を吸収する色でありますから、黒は大きな寛容性をあらわす光線です。

そのため、黒龍はとても成熟した龍であり、

強度の霊障の浄霊などを得意とします。

クリスタルの龍

クリスタルの龍は、宇宙の中心の光をダイレクトに注ぎこみます。その際は、人間的な常識を超越した結果をもたらすことがあります。

透明の体を持ちますが、

フィールドワークで、クリスタルの龍に土地の浄化をゆだねるときは、

透明なクリスタルの龍体に、

何色かの光線を重ねて発光している場合もあります。

クリスタルの龍には、山脈や地域一帯など、

広範囲の土地の浄化に協力してもらいます。

レムリアの龍

太古のレムリア大陸に生息していた美しい龍であり、クジラやイルカの守護神でもあります。

レムリアの龍は、おぼろげな記憶として、

現在も世界中の人々の魂に刻まれており、

世界中にある龍信仰における龍の様相は、ここから発しています。

愛と平和の象徴であるレムリア龍は、

いまも、レムリア人の末裔である日本人の精神に影響を与え、

日本人を守護する龍でもあります。

かつてのレムリア人たちは、

レムリア龍のことをとても神聖な存在として崇め、

特別な呼び方をして敬っていました。

「イエヘイツ・ラア」それが彼らの名前でした。

そこには

「聖なる光…物質化した宇宙神の生命という光」

という意味がこめられています

7. 龍とドラゴンの違い

龍とドラゴンは一緒の存在ですか、といったご質問をよく頂きます。

現代人の多くは、

〈宇宙の龍〉〈地球の龍〉〈精霊〉が融合して生まれた〈精霊の龍〉を、龍と呼んでいます。

この精霊にあたる部分は、

場所や地域によって性質がことなるため、ある系統は龍と呼ばれ、

ある系統はドラゴンと考えられました。

そのため、龍とドラゴンは同じ存在だといえます。

そして多くの日本人にとって、

龍とドラゴンの解釈に混乱がありますが、

それには地域による、

龍に対する人間のあつかいの違いによるものが大きいでしょう。

たとえば西洋の中世の宗教画を見ると、

大天使ミカエルがドラゴンを退治している絵があります。

これはドラゴンが悪者だという意味なのでしょうか？

その説明をさせていただきます。

太古の地球には、大規模な地域で龍信仰がありました。

その末裔の文明が残った地域では、

龍は神聖な存在としてあつかわれ、

その末裔たちの文明が消された地域では、

ドラゴンは、邪神としてあつかわれました。

つまり、ドラゴンは長い間虐げられてきたのです。

それでは、ドラゴンがなぜ虐げられたのか、ご説明させていただきます。

その前に余談ですが、

西洋では、ドラゴンを爬虫類型の龍と誤解していますが、

実際のドラゴンは、鳥類に似た羽毛と翼を持った体をしていました。東洋でも、蛇と龍を同じ存在に考えてしまう方がいらっしゃいますが、この誤解は、かつての地上に存在した、爬虫類型生命体の文明と混合視されてしまったためです。

また、世界中には、

たくさんの虐げられた存在たちの〈苦しみの想念〉が残されていますが、戦いの繰り返しであったヨーロッパでは、

それらが集まって巨大化した〈苦しみの想念集合体〉が発達してしまいました。

※この苦しみの想念集合体を集合エレメンタルと呼びますが、第2章で解説します。

それらの想念集合体が、

精霊をあつかう西洋神秘学秘伝者たちの秘術の濫用によって、

さらに発達したドラゴンがいますが、それはとても過激なドラゴンです。

こういったドラゴンが存在するのも事実ですが、

それには理由がありますし、

その解決方法は、当然、力によるさらなる虐待によるものではありません。

ヨーロッパでは文明や国家が争った際、戦争に勝利した側は支配者となり、制圧した地域の神を、自分の文明の神と融合した場合があります。

この場合は、両国は戦争をしたが、実はお互いに同じ先祖の末裔であり、お互いが祭る神々も実は兄弟だったなどとして、

敗戦国の神が、戦勝国の神話に吸収されるのですが、

これは日本の神話にみうけられる和解のための手段といえます。

また戦勝国が敗戦国の神を、邪神にしてしまった場合があります。

ヨーロッパでは、多くの地域で、ドラゴンが邪神にされました。

ただ、ヨーロッパでも古代の先住民文明が強く残っている

イギリス各地やアイルランド、

東ヨーロッパや北イタリアなどでは、ドラゴンは神格化されて残っています。

またドイツ伝承にあるドラゴン退治は、異文化の武力制圧の表れです。

このように一部の西洋では、ドラゴンを邪神としてあつかう地域もありますが、東洋では、龍を神や高級霊のようにあつかいます。

これら、東洋と、西洋の一部の龍信仰の背景には、

太古の地球に、大規模な龍信仰があったことを表しています。

そして東洋では、

龍をそのまま神としてあげている文明がいます。

またこのことは、龍信仰の文明が政治的に成功していたことも挙げられます。中国はその大きな一例です。

ちなみに、穏やかな河川など美しい自然に宿る精霊の龍や、大事に祭られている想念の龍は落ち着いていますが、

虐げられた集合意識と一体化した想念の龍は破壊的です。

それらは政治運動や、革命運動の黒幕的な関係を創る場合もあります。明治維新やフランス革命は、そういった霊的な背景がありました。

余談ですが、龍と竜の表記の違いのご質問もよくうかがいます。結論をいうと、どちらの文字も、ドラゴンという言葉も、

龍の本来のエネルギーを象徴できていないため、

このことはあまり重要視されませんが、気になる方も多いと思われるので、ご説明させていただきます。

龍…人間の想念やイメージや印象が融合したものの抽象的な龍を現す。

造形は人それぞれになる（宗教的、想念的）

竜…レムリアやアトランティスの頃の物体の龍（物的）

※レムリアと聞くと、5次元レムリア文明のイメージが、

3次元レムリア大陸文明より強い方には、

龍の文字のほうがレムリア的と感じるかもしれません。

※竜⇨ドラゴン⇨悪者という考えは、誤解にもとづく俗説です

西洋の宗教画にある、大天使ミカエルが退治するドラゴンは、

、〈龍を信仰する古代文明の末裔たち〉を侵略した支配者たちが、

龍信仰の民を精神的に従えさせるために、

当時影響力が強かった宗教を利用したことの表れです。

第2章

龍の訓え

人類は生き方を変えるときにやってきました

ここには人生や世界を本質的に変える説明があります

わたしたちが恐怖の重荷をおろすときです

龍は言います

魂を恐怖から解放することを

解放の方法は

恐怖を見ることを

光を見ることに切り替えることから

始まります

さあ一緒にはじめましょう

転生の正体

転生という幻想

龍は「転生は幻想」だといいます。

人の生まれ変わりをあらわす転生とは、ほとんどの人間が気づいていない（自分の本体）によってつくられた、魂のプログラムです。まずはこの転生について説明させていただきます。

人の死後

人は死をむかえると、さまざまな活動をおこします。

今まで「自分」というグループを構成していた、〈肉体〉^{ボディ}〈感情と思考〉^{マインド}〈意識〉^{スピリット}のうちの〈意識〉は、あらゆるプロセスを経て、天と呼ばれる宇宙の中心の光に還ります。そして、もうひとつの〈肉体〉は、朽ち果て、やがて大地や水にとけ、地球と一体化します。

また、人は亡くなる直前ほど、強力な想念を発しやすいです。人は亡くなる際に、地上に強い怒りや心配などの執着を放つと、〈感情と思考〉の一部は、地上や人の中にねづきます。こうやって天に還らず、地上に残った〈感情と思考〉の一部の生きた抜け殻は、一般的に幽霊と呼ばれ、地上に残留しています。

転生のしくみ

今度は、転生について、ご説明させていただきます。

創造主や根源と呼ばれる〈宇宙の中心の光〉に還ったスピリットは、その光に吸収され、光と一体化します。この〈宇宙の中心の光〉は、宇宙すべての生命体の記憶がある場所です。

このことをわかりやすく水で例えると、生きている人間を〈コップ〉とその中の〈水〉と考えます。その人間が死を迎えると、水は海にかえり、コップはこわれます。その海は、宇宙すべての生命体の記憶が集まっている、一つの生命体です。

その海には、全宇宙に存在したものの記憶があります。

そして、本来の転生とは、
新しい人間をつくる際に、
肉体というコップに海の水をいれて、

〈宇宙の中心の光〉が

かつて地球のどこどこに暮らしていたAさんのこの部分の経験と
おなじくBさんのこの部分の経験と

Cさんのこの部分の経験を・・・

といった具合に

たくさんの方の経験を

過去生という名のプログラムとして、設定されているだけなのです

もしも海の水を新しいコップですくったら、

そのコップの中の水は、

すべての生命体のエネルギーや記憶が宿されているのですから、

全ての人類は、

イエスやブツダ、卑弥呼の生まれ変わりと、

いえるのです。

逆に言えば、誰もが全ての生まれ変わりに、

「そうではない」というへ自己否定という封印が機能しているだけなのです。
ですから、現代はその封印を人類全体で解放しようとしています。

過去生はプログラムに過ぎず、

ご自分をプログラムのままでいる方は、

設定されたプログラムの影響をうけますし、

ご自分はプログラムだから、

いつでも自由にプログラムを書き換えられると、

気づいた魂は、

転生やカルマという呪縛から、

卒業することができます。

ただこれは知識として「知っている」レベルの理解ではなく、
細胞レベルや潜在意識レベルで「信じる」必要があります。

ですが、わたしたちの多くは、
自分や、誰か、また神聖さや愛すらも、
「信じる」ことに抵抗する「疑う」機能をプログラミングされています。

ですが、もうその機能は解放されるときがやってきました。
宇宙からのサポートによって、

人類は苦しみの連鎖をする生活から解放されます。

そのために、

宇宙はわたしたちに大きな愛をもたらします。

人は、愛を感じると、

何かを愛さずにはいられないように創られています。

愛は、慈しみは、すべてを変えることができます

一般的な縛られた転生は存在していません。

転生は幻想です。もしくは、転生とは自由なものです。

このプログラムは、わたしたちの人生に影響をあたえています。

感情や思考主体の心の使い方をしている場合は、

過去のトラウマや、カルマの影響をうけますが、

自分は広大な宇宙の物質化した存在、もしくは意識だということに目覚めると、

自分の心の周波数は上昇し、カルマプログラムを受信できなくなります。

これはラジオで、チャネルを合わす行為に似ています。

自分の心の周波数が拡大すると、

狭苦しい周波数のカルマプログラムは人に適用できなくなるのです。

わたしたちが苦しむとき、理由はいつも自分の心の使い方にあるのは、そのためです。

つまり、心が解放されると、

過去生やカルマ、エネルギーブロックといったものは、すべて機能しなくなります。

人はカルマや過去から解放されるのです。

このことは、転生の超越といえます。

古今東西の精神的指導者が

「純粹さ」や「幼児のような心の使い方」「無になる」といった、

ハートを開くことをすすめたのはそのためです。

なぜならそのことは、すべての苦しみから解放する方法なのですから。

時間の正体

一本の直線を「イメージ」してください。
一般的に時間とは、

この「直線」のように考えられています。
過去↓現在↓未来、

このように考えられています。

ですが人生は決められたレールの上を、
なぞって歩くわけではなく、

自由意志によって、
たくさんの選択ができます。

そうなると人生は直線ではなくなってきます。

次は「丸い円」をイメージしてください。

丸い円の中心にご自分がいて、

中心点からあらゆる方向に、

たくさんの直線や曲線が伸びているのを、

イメージしてください。

しかもそれらの線はアミダくじのように、

線の途中で方向転換できるための横線が、

斜めや真横にはしっています。

このことは、

人生にはたくさんの選択枝や道があり、

いつでも自由に方向転換できることを、

あらわしています。

まるでクモの巣のようにみえるかもしれません。

ですが時間とは、

このクモの巣型のものではありません。

今度は子のクモの巣を、立体的なボールのように
イメージなさってください。

ボールの中心点から、

立体的にあらゆる角度に線が放射状に伸びています。

その直線には、無数の横線も、
立体的に張り巡らされています。

人生には、たくさんの道が伸びています。
そして、たくさんの道には、たくさんの横道があるため、
いつでも自由に道を変えることができます。

ですが、時間の正体とは、
この立体的なクモの巣ボールを移動するのではなく、
ご自分はボールの中を移動したと想っていても、
実際は、

いつも、ご自分は中心点から動いていないのです。
動いたと思うのは、
クモの巣型のボールの中の様子が変化しているだけなのです。

人は何かの行動を起こした場合、
このボールの中心点から外側にむかって、
ご自分が移動したと考えるかもしれませんが、
実際は中心点からは一歩も動いておらず、
ただ周りの景色が変わるように、
その立体的なクモの巣のようなものが、
行動を起こしたなりの、
新しいつくり（道の配置などに）、
つくり変わるのです。

この立体的なクモの巣型の人生というボールは
ご自分のつかう意識によって、
毎瞬、毎瞬、
自在に変化していきます。
毎瞬、毎瞬、
ご自身の価値観や世界観によって、
生まれ変わっているのです。

そして、人はどんな時もへ人生の中心へにおいて、
決してそこから動くことができません。
そのため、

伝統的なスピリチュアルマスターたちは

「時間は幻想」

「今を生きる」

という説明をするのです

人生では、

中心点で何をするのか、
が重要です。

過去は実際には存在していません。

毎瞬、毎瞬リニューアルされる意識のボールによって、
過去の体験は、キレイに削除されているのですが、
わたしたちが、

実際に過去の影響を受けると感じる理由は

リニューアルした新しい意識のボールが

過去の影響をうけて創られているからなのです。

そのため

人生を変えたい場合は

いま中心点で自分が何かをするのか

(いまの自分が人生で何をするのか)
がいつも重要になってきます

そして、

人生の現実化システムを活用してください。

それは、

立体的なクモの巣のようにも見える、

人生というボールを美しくすることです。

具体的にいうと、

美しい世界観や

美しい価値観をもち

明るく、楽しく、飲む人生を選択してください。

もう感情の発散の人生の選択は卒業してください。

人生や世界は、美しく素晴らしいものです。

ご自分が一時的に混乱することがあっても、
やがて美しい本来の状態にもどる、
という世界観や価値観をもつことです。

ご自分に対しての自己肯定と、
社会に対しての世界肯定は、
人生を美しく導いてくれます。

苦しみや暗い世界観や価値観は、
ご自身の人生を暗く苦しみの現実へと導くのは、
そのためです。

時間を移動していると思わないで、
時間は意識でつくられている幻想、
だと気づいてください。

感情が暴れてしまう
思考の連鎖が終わらない
と感じるときほど、

ご自身がどんな世界観や価値観を持ち、
いまどんな世界観や価値観をつかっているか、
意識をむけてみてください。

またそんなときの対処は、
屋外に出て、
太陽や大地、雲や空、月や星、木々や花々、川や湖、海や山など
自然をしばらくみつめてみることです。
人は自然の中になると、心がおちつくように創られています。

これでも落ち着かない人は、たいていせっかちで気負いがちな人です。
寝転んで、数分間、深呼吸をしながら自然を見つめ、
やがては自然呼吸に戻し、
10〜20分は自然をみつめるか、自然の中に行ってください。

引き寄せの真髄

人類は新しい祈りに目覚めようとしています。
祈りやアフアメーション（宣言）はパワフルなエネルギーワークですが、現代のスピリチュアル実践者のみなさんが、その効果に疑問はないのでしょうか。

その説明には、
わかりやすくするために、
あえて時間という幻想を用いてさせてください。
たとえば

「自分が「〇〇になりたい」と強く願った際、
毎日5分間、
祈りやアフアメーションをおこなったとします。
ですが、

1日は24時間であるという考えを用いるなら、
5分間の祈りやアフアメーションをおこなった以外の、
残りの23時間55分を、
どのような意識や心持ちで過ごされたかが
人生では重要なのです。

つまり、
5分間は前向きになられていらっしやっけていても、
残りの23時間55分間は、

「ほんとうにできるだろうか」
と疑問や不安になられている場合、
宇宙は、
5分間で生み出された意識エネルギーより、
23時間55分で生み出された意識エネルギーを、
現実として反映させます。

これは自然のなりゆきなのです。
ですからわたしたちは、
5分間も大事ですが（一時的な思考や感情）
23時間55分を（世界観や価値観）
どう過ごすかが重要なのです。

引き寄せとは

一時的に抱いた感情や思考だけではなく

ご自身の本音が

ご自身の世界観や価値観と連携して

はね返ってきます

引き寄せや

世界平和の実現をなえたいのであれば

今ご自分の世界観や価値観を

穏やかすることです

世界は平和であると信じるほどに

世界は平和に変わっていきます

そのことが

どう現実化しているのでしょうか

人は

ご自分なりの世界観や価値観に影響され

ご自分なりの思考が生まれ

ご自分なりの思考に影響され

ご自分なりの感情が生まれています

世界観↓思考↓感情

このような流れがあり

人生ではとかく感情が

欲望のままに動かそうとし

感情にふりまわされている

という側面もあるでしょう

また感情より思考が強い個性のかたは

理知的と呼ばれ

感情にふれまわされず

思考による合理的な行動をとれますが

真面目で魅力的な人物が急な事故でなくなるなど

人生はとかく理屈だけでははかれないこともあります

また人の心を魅了するのは

人の思考というよりは

たいてい感情の部分です

平和に暮らしたいのなら、
穏やかな世界観を持つことです。

ご自身の現実が、
あまりに荒れている人の場合は、
「世界は混乱しているが やがて平和になるはずだ」
「世界は腐敗しきっている」
という暗い世界観を強く持っています。

暗い世界観は、
暗い思考や感情を生み出します。
そして、暗い思考や感情は、
人生を暗く苦しいものに導くでしょう。
一時の喜びが出て、
しばらくすると、心の闇にかき消されてしまいます。

そして、
暗い人生の人間が集まると、
地上は暗い世界になるでしょう。
人生はいつもシンプルです。

覚えていてください。
苦しみによって成功した人物は、
人へ成功を伝える際に、
苦しみを伝えます。
喜びによって成功した人物は、
人へ成功を伝える際に、
喜びを伝えます。

どちらもご本人は良かれと思っ
て行うことですが、
一方は世界に苦しみをひろげ、
一方は世界に喜びをひろげて
います。

もちろん人生では苦しみも
喜びもあるでしょう。

ですが現代人は、そのバ
ランスが極端に苦しみに傾
いています。

スピリチュアルでは、そのバランスを取ろうとしているのです。

またさらに意識が進むと、

苦しみをういしないで暮らすことができます。

そしてそれこそが、

スピリチュアルが人類に伝えたい大事なポイントなのです。

それを使うにはより純粹さが必要です。

今そうなれなくとも、ご自分のペースで進むでしょう。

さて、

以上をふまえ、

私たち人類は、

どのような世界観で生きていきたいと思いますか？

イルカの愛

イルカは群れをなして生きていますが、イルカは一頭でも仲間が漁師の網にかかってしまうと、群れ全体で網に入り、仲間を救出しようとすることがあります。

このことを、愚かな行為に感じる人もいるかもしれませんが、イルカは集団で犠牲になろうとしているわけではなく、イルカなりの方法で仲間を救出しようとしているのです。

その方法とは常識にしばられない世界観です。

網には限界というものがありません。

ですから、あまりにたくさんイルカが網にかかる、網は破れてしまいます。ですからイルカは果敢に網に入っていくのです。

この網は、人間世界の常識という枠そのものです。

いま、わたしたち人類は、これら美しい世界観による、新しい生き方に変化しようとしています。

網という常識を、美しい世界観で超越するイルカの行為は、世界を光で満たす現代のわたしたちが、さまざまな活動をおこなっていく上で、もっとも参考になる現実的な対応方法のひとつです。

世界はもう、

恐れや心配という世界観を持つ時代から、
歓びや慈しみという世界観を持つ時代へと、
進化しているのですから。

全肯定の生き方

苦も楽も、結局は同じものだと思つづき
苦楽による旅を卒業なさった方は
全肯定の方法によって幸せになれます

すべての魂は人生の成長の中で
結局はこの方法を用いることとなります
これを「楽行」といいます

全肯定の生き方とは
どんな状況や状態でも
決してご自分を責めず

ご自分の現状が
不快であり
愛を感じない場合でも
そんな状態を生み出したご自分を
否定や後悔
また反省すらおこなわず
改善だけします

多くの日本人にとって
反省は自己否定や自己攻撃をふくみます
スピリチュアルでおこなうことは
ご立派な大義名分にふりまわされ
罪悪感や責任感などでポロポロにされた
自己価値を上げることにあります

なぜなら
自己価値が低いままですと
自分を信じることができず
周囲にふり回される人生になりがちなのと
現実の引き寄せや
すべてのスピリチュアルのワーク

また実社会での活動など

人生すべてにおいて、影響を与えるからです

ご自身の成長で

「自分を信じること」

いつも大事に育てることが重要です

人は「信じる」ことを

人との交流の中で学びます

そして信じるために必要なものは

感動から生まれます

ですから人は感動によって変わるともいえるのです

「ご自分の心の使い方、人生が少しでも変わったら、

それは歓びになり

さらに心の使いかたを工夫していくことにより、

人は少しずつ「信じる」ことを身につけ、

神聖な存在や宇宙、どこかの誰か、周囲の人々、

そして「自分を信じる」ことが出来るようになります

全肯定の道は

その自分への信頼を取り戻すためのステップです
なぜなら

自分という世界をつくっている自分自身への

無条件の愛からです

「人生には善悪の判断が必要ない」と思える方はぜひ「活用ください

ただこのステップに入ると

世界に怖いものや

苦しいもの

またストレスは

消えていきます